



マカオ情勢を知る4つのポイント

2024年4月



1. 概況

(1) 正式名称:

中華人民共和国マカオ特別行政区

(2) 面積:

33.3km² (東京都世田谷区の約半分、85km²の管理水域)

(3) 人口:

67.28万人

(4) 公用語:

中国語、ポルトガル語

(5) 歴史

1845年 ポルトガルによる「マカオ自由港」宣言

1888年 ポルトガル・清友好通商条約(行政権確立)

1979年 中ポ外交関係樹立

1987年 中ポ共同声明、マカオ返還を決定

1999年 マカオ返還
マカオ基本法施行
何厚鏞(Edmund HO)
初代行政長官就任

2009年 崔世安(Fernando CHUI)
行政長官就任 (2014年再選)

2019年 賀一誠行政長官就任



2. 経済

(1) GDP: **実質GDP成長率は**、2023年は現地の経済活動とサービス輸出の漸進的な再開に続いて経済が顕著な回復を示したことなどにより**前年比で80.5%増**。2019年の水準の80%まで回復。

GDP(2023)	1人当たりGDP(2023)
379,478百万パタカ(澳門元) (約6.66兆円)	559,495パタカ(澳門元) (約982万円)

※「GROSS DOMESTIC PRODUCT 2023」(マカオ統計及普查局)等より

※換算1パタカ=約17.54円, 2023年平均「Macao in Figures 2024」(マカオ統計及普查局)

(2) **主な産業**:観光及びカジノ業は、2019年においてGDPの約5割。2020年から2022年においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3割から4割程度に減少。カジノ収入は、大幅に減(2022年は2019年比で85.4%減)。2023年はコロナ規制の撤廃やボーダー再開に伴い、急回復(前年比で338.1%増、GDPの約5割)。

カジノ収入	2019	2020	2021	2022	2023
単位: 十億パタカ	293.31 (約4.7兆円)	61.05 (約1.0兆円)	87.56 (約1.4兆円)	42.84 (約0.7兆円)	187.70 (約3.3兆円)

※「Macao in Figures 2024」(マカオ統計及普查局)等より

※換算1パタカ=約17.54円, 2023年平均「Macao in Figures 2024」(マカオ統計及普查局)



マカオのカジノ場
(2020年3月マカオ新聞)



賀一誠行政長官

3. 政治情勢

(1) 行政長官が首長。主要高官は、行政法務、経済財政、保安、社会文化、運輸・公共事業の5長官。

(2) 1999年の返還以降、マカオと中国中央政府との関係は極めて良好に推移。

(3) 中国の「一帯一路」構想においてポルトガル語圏(ブラジル、ポルトガル等)との架け橋の役割。

4. 日・マカオ関係

(1) **在留邦人**: 525名(2023年10月1日時点、出典: 外務省海外在留邦人数調査統計)。**澳門日本会**が活動。

(2) **在マカオ日系企業** (2023年時点): 大手のメーカー、損保、ホテル、旅行代理店のほか、観光、日本食レストラン等の中小の日系サービス事業者も活動。2011年、澳門日本商會が設立。

(3) **渡航者数** (万人)

(万人)	2018	2019	2020	2021	2022	2023
日本→マカオ	32.6	29.6	1.5	0.0	0.2	7.5
マカオ→日本	10.9	12.1	1.2	0.0	0.1	7.4

(4) **直行便**: 週14便(成田に週7便、関空に週7便)(2024年夏ダイヤ)

(5) **経済協力の事例**

2019年、三菱重工が納入した次世代路面電車(LRT)が運開。また、同社は4つの関連プロジェクトも受注済み。

(6) **最近の日本文化活動**

2023年8-9月の間、アートマカオにシティパビリオン「京都館」を出展。いけばなワークショップ実施。